

山下地区

山下地区別計画推進委員会

地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

区の北側、恩田川と鶴見川にほぼ挟まれた形で東西に長く位置し、北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接している。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅がならんでいる。山下地域交流センターやコミュニティハウスが整備され、活動の拠点となっている。

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの福祉施設が多い。

<主な関連施設>

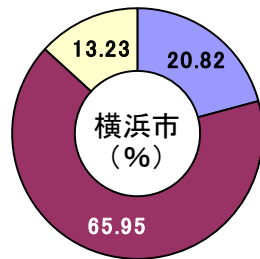
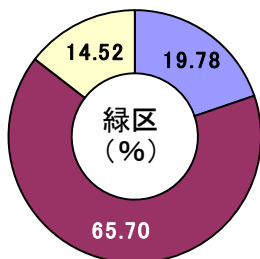
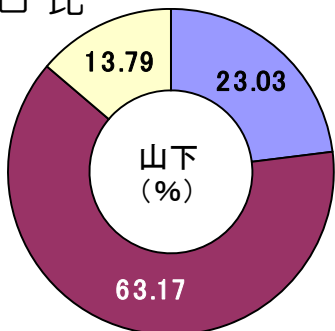
最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）
 震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校
 地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、ふじ寿か園地域包括支援センター

<年齢区分別人口>

平成24年(2012年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



75歳~	1,825人
65~74歳	1,973人
15~64歳	10,416人
6~14歳	1,454人
0~5歳	820人
合計	16,488人

75歳~	15,259人
65~74歳	19,875人
15~64歳	116,732人
6~14歳	15,921人
0~5歳	9,876人
合計	177,663人

75歳~	352,985人
65~74歳	418,938人
15~64歳	2,445,039人
6~14歳	298,801人
0~5歳	191,501人
合計	3,707,264人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成24年6月26日
 19:00~21:00
 山下地域交流センター
 ●推進状況報告
 ●各団体の取組の進捗確認、今年度の重点取組に関する意見交換

通信No.3発行

第2回

平成25年1月17日
 19:00~21:00
 山下地域交流センター
 ●今年度の取組の振り返り
 ●次年度の取組についての話し合い

通信No.4発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成24年度地区別計画推進状況



山下地区



「つながり」を大切にする もっともっと素敵な街を目指して!

山下地区では、『地域でのつながり』を大切にし、『必要な情報』が入手しやすいまちづくりに向け、地域全体で取り組んでいます。

地域での「つながり」

地域全体の取組としては、「山下地区体育祭」や「山下地区自治会対抗ソフトバレーボール大会」など、楽しいスポーツ行事が盛大に開催されました。

また、地域の高齢者がいつまでも健康で、いきいきと生活できるために、体操や認知症予防など、介護予防に

取り組む『元気づくりステーションわくわく（気持ちも和く若く）』を2月から週1回山下地域交流センターで始めています。



(写真:「自治会対抗ソフトバレーボール大会」の様子)



(写真:「体育祭」の様子)



(写真:「元気づくりステーション わくわく」の様子)

地域での情報共有

山下地区内の情報を共有するため、『山下連合自治会だより』創刊号（A3版・両面・フルカラー印刷）を、平成25年1月15日に発行しました。

今後は、連合自治会だよりを通じて、それぞれの活動内容を『お互いが知り合える』、そして『安全・安心なまちづくり』を進めていくことで、地区の活性化に繋げていきます。

「山下連合自治会だより」を活用し、自治会の枠を超えた
“つながり”づくりに今後とも取り組んでいきます!



山下地区別計画推進委員会



山下地区別計画推進委員会
平成24年7月発行 No.3

山下地区別計画推進委員会通信



山下地区別計画推進委員会を開催しました！

平成24年6月26日(火) 19時～21時 山下地域交流センターにおいて、**平成24年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画推進委員会を開催し、平成23年度の取り組みを振り返るとともに、山下地区別計画の更なる推進に向け話し合いを行いました。**

当日は、委員紹介の後、「平成23年度推進状況報告書」を用いて、地区の課題と目標の再確認、これまでの取組の振り返りを行いました。

続いて、各団体の取組の進捗について、情報共有を図り、今年度、山下地区で重点的に取り組む内容について、話し合いを行いました。

地域の皆さん、是非ご覧ください！



ふれあい昼食会(北八朔上)

山下地区別計画

1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

【具体的な取組】

- 回覧板はチャイムを押しての手渡し、行事のお知らせはチラシより直接会って伝える、スポーツ行事を通じた交流を広げるなど、あいさつで顔見知りになる機会を増やすこと。
- 「自治会の枠を超えたつながり」をつくるため、民生委員等の各種団体が接着剤の役割（地区情報の共有化）をしていくこと。**自治会と各種団体はオリンピックの五輪の輪！**

2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

【具体的な取組】

- 緊急時医療情報キット配布等の訪問時には、併せて興味のある情報や他の団体が行う行事等の情報を伝えること。
- 連合自治会が中心となって、自治会や各種団体の活動をつなげる会議を開催し、地区の情報を共有化すること。また、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用すること。

3 「防犯・防災」で安全・安心なまちづくり

【具体的な取組】

- 老人会の入会勧奨等の訪問時に、防災ささえあいカードに記入してもらおう等、情報収集に努めるとともに、自治会や民生委員が中心となり、情報の更新を計画的に行うこと。
- 高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進めること。

★昨年度の地域での取組

- 自治会加入に向けた案内を未加入世帯にポスティング(青砥町)
- 黄色いタオルを玄関や門柱に掲示する、災害時の安否確認訓練を実施(小山町)
- 高齢者が気軽に集い交流できる「友愛サロン」(みどり台)や「ふれあい昼食会」(北八朔上)等を開催

意見交換では、実際に取り組みを推進していく立場である委員の皆様から、課題解決に向けた具体的な発言などもあり、様々な意見があがりました。

【山下地区別計画推進委員】(アイウエオ順 敬称略)

浅見 静代	○荒谷 孝道	井上 和子	小熊 富美	小澤 秀夫
河田 早美	小嶋 賢治	斎藤 光司	鈴木 陽子	高橋 弘行
谷井 春夫	成島 昭吾	兵頭 洵	松田 弘	宮田 文夫
本橋 吾朗	山崎 牧子			(○印は委員長)



委員の皆さんからの主な意見

【今年度の取り組みについて】

- ・こども会(自治会)への加入者を増やすために、こども会役員の負担を自治会が担い、また、子育て中の人に限らず、どなたでも、こども会の活動に参加できるようにして、子育てに忙しい母親などが、負担を感じることなく、安心して参加できるようにしたい。
- ・さらに、高齢者がこども会の役員を担えば、高齢者に活躍の場を与えることにもなる。
- ・自治会加入促進、こども会の課題を全13自治会で話し合い、来年4月からまとまった取組を始めたらどうか。
- ・60歳余の人を、何か役立つボランティア的な活動に活かして、老人会の活性化を図りたい。また、60歳未満でも地域との繋がりが薄い人は孤立化する恐れがあるので、趣味等を発表する場があると良い。

【今年度で重点的に取り組む内容について】

- ・連合全体で、こども会役員の負担を軽減することで、こども会を立て直し、60歳からの老人会加入を進めて、運動会や盆踊りなどの担い手を確保し、地区全体での活動が仲良く、継続し、楽しく行えるようにしていきたい。
- ・地区社会福祉協議会では、引き続き、リハビリ教室、お楽しみ昼食会、地域支えあいの会の活動を3本柱として取り組みたい。

【今後の委員会の進め方について】

次回は、12月頃に第2回地区別計画推進委員会を開催し、取り組んだ活動について振り返りを行う予定です。

●今年度は、こども会や老人会の加入者を増やして、運動会などの担い手を確保し、地区全体の活動が仲良く・継続し・楽しく行えるように取り組んでいきます。

●みんなの力で山下地区をもっともっと素敵な街にしていきたいと思います！！



<連絡先> 山下地区別計画推進委員会事務局 TEL: 930-2282 (緑区 税務課担当課長 福島)



山下地区別計画推進委員会
平成25年2月発行 No.4

山下地区別計画推進委員会通信

山下地区別計画推進委員会を開催しました！

平成25年1月17日(木)19時～20時半 山下地域交流センターにおいて、平成24年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画推進委員会を開催し、平成24年度の取り組みを振り返るとともに、山下地区別計画の更なる推進に向け話し合いを行いました。

各委員(団体)から、これまでの活動状況の報告があり、地区別計画の推進状況を全体で振り返るとともに、次年度に取り組みたい内容について話し合いを行いました。



みどりのわ・ささえ愛プラン 山下地区別計画

1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

取組：あいさつで顔見知りになる機会を増やす、回覧板の手渡し、スポーツ行事を通じた交流、地区情報の共有化、自治会の枠を超えたつながり など

2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

取組：配布等の訪問時には併せて情報を伝える、連合自治会が中心となって地区の情報を共有化する、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用する など

3 「防犯・防災」で安全・安心なまちづくり

取組：情報収集・更新を計画的に行う、高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進める など

【山下地区別計画推進委員】(五十音順、敬称略)

浅見 静代	○荒谷 孝道	井上 和子	小熊 富美
小澤 秀夫	河田 早美	小嶋 賢治	斎藤 光司
鈴木 陽子	高橋 弘行	谷井 春夫	成島 昭吾
兵頭 洌	松田 弘	宮田 文夫	本橋 吾朗
山崎 牧子			(○印は委員長)

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指し、区民・事業者・行政が協働で取り組む地域福祉保健計画です。地区別計画は、11 連合自治会ごとに策定し、平成23年度からスタートしました。

平成24年度の「つながり」「情報」に関する地域での主な取組

新規

- 山下地区で各団体が実施する行事の募集・案内等、情報伝達・情報共有の一環として、「山下連合自治会だより」創刊号を発行し回覧（A3版・フルカラーの表裏）
- 健康維持を中心に体操や認知症予防など、介護予防のための「元気づくりステーション わくわく（気持ちも和く若く）」を、2月から山下地域交流センターで実施

継続

- 子どもスポーツデー（ティーボール大会、自治会対抗ソフトバレーボール大会、正月こども大会の開催 など



第2回委員会での委員の皆さんからの主な意見

【現状やこれまでの取り組みについて】

- ・子ども会の役員を終えた後に退会してしまう人があり、いかに続けて活動してもらうようにするのが課題。共働きが多く、小さな子どもがいる場合は大変だ。
- ・市街化調整区域が多くて住宅が増えないため、子どもが少なくなった。用途地域の見直しが必要で、このままだと2歳児が0人、子ども会は8人になる（小山町）。
- ・60歳以上の女性方に子どもを預かる行事をお願いしたところ、何か事故があったりしたら大変なので難しいと言われた（子どもを預かる行事は、子ども会が担うべき）。
- ・子ども会で活動しても、参加する子どもが二つの小学校ごとに分かれてしまい、地区全体の活動を難しくしている。
- ・隣の自治会のこと分からないので、「山下連合自治会だより」を活用して、「お互いが知り合える」ようにしたい。

【次年度に取り組みたいこと】

- ・子ども会の立て直し（役員の負担軽減や担い手の確保等）は早急に進めたい（青砥町）。
- ・次回も、引き続き、子ども会についての課題や取組状況を話し合っていきたい。
- ・60歳余の人も含めた高齢者に、生き活きと活躍できる場を提供し、「山下連合自治会だより」という情報提供の場を存分に活用して、山下地区の活性化に繋げていきたい。
- ・「山下連合自治会だより」は月1回の発行・回覧が継続できるよう、編集スタッフの充実と編集スキルの向上を図り、掲載記事の収集や取材・編集を効率的に正確・円滑に進めていきたい。

- 山下地区での取組は、2月19日（火）開催の緑区社会福祉大会の会場（緑公会堂）でも、パネルにより展示します。

- みんなの力で山下地区を「もっともっと素敵な街」にしていきたいと思います！！



<連絡先> 山下地区別計画推進委員会事務局 TEL：930-2282（緑区 税務課担当課長 福島）